



三賞受賞作品
文部科学大臣賞
「On the Beach 1/2」
(HeHe)
経済産業大臣賞
「サイエンスペディア 1000」
(ディスカヴァー・トゥエンティワン)
東京都知事賞
「SHUNGA」
(永青文庫)

第51回

造本装幀

コンクール

応募締切
2017年
5月12日(金)

第51回 造本装幀コンクール 出品申込み書

《web申込フォーム》 <https://goo.gl/RSQBbz> 

応募締切：2017年5月12日(金)

※お手続きが簡単な申込フォームを作成しました。ぜひご利用ください。
※ FAX でお申込みの方は、下記をご記入の上、事務局までお送りください。

《FAX用》 造本装幀コンクール事務局 行
FAX.03-5211-7285

申込日：2017年 月 日

会社名			
住所	〒		
出品 責任者	部		課
	様		
TEL		FAX	
E-mail			

※記載事項は、略さず正式名称をご記入ください。

下記のとおり **合計** 点、出品いたします。

部門別	出品点数
1 文学・文芸 (エッセイ)	点
2 芸術書	点
3 児童書・絵本	点
4 専門書 (人文社会科学・自然科学等)	点
5 語学・学参・辞事典・全集・社史・年史・自分史	点
6 生活実用書・文庫・新書・双書・コミック・その他	点

※申込受領後、事務局より出品方法に関するご案内とご請求書をお送りします。

主催 (一社)日本書籍出版協会 / (一社)日本印刷産業連合会

作品募集のご案内

出品作品は、2017年秋以降、国内にて公開展示を予定しています。
入賞作品は、ライプツィヒで開催される「世界で最も美しい本コンクール」に日本を代表して出品され、その後世界最大の国際図書館展であるフランクフルト・ブックフェアで展示されます。

造本装幀コンクールは、造本装幀にたずさわ
る人々（出版、印刷、製本、装幀、デザイン）
の成果を総合的に評価する出版業界で唯一の
賞です。同コンクールは、「美しい本」づくりをめ
ざす意欲を高め、広く内外にわが国の造本装幀
技術の素晴らしさを紹介し、また、読書推進をは
かり、ひいては出版文化産業の発展を促すことを
目的とします。入賞作品は、ライブツィヒの「世
界で最も美しい本コンクール」に日本を代表して
出品され、さらにフランクフルト・ブックフェアで展
示されます。



第50回 展示ブース正面

作品募集要項

募集期間：2017(平成29)年3月6日(月)～5月12日(金)

出品資格：出品書籍の制作に関わった者

出品作品：2016(平成28)年1月1日から12月31日までに発
行された書籍

出品部門：6部門 ※外国語版は内容により各部門へ出品

1. 文学・文芸（エッセイ）
2. 芸術書
3. 児童書・絵本
4. 専門書（人文社会科学・自然科学等）
5. 語学・学参・辞事典・全集・社史・年史・自分史
6. 生活実用書・文庫・新書・双書・コミック・その他

出品料：1点（1冊）当り5,940円（税込）

審査会：2017年7月3日(月)

発表予定：2017年7月(予定) 日本書籍出版協会および
日本印刷産業連合会HP上

申込先：〒101-0051

問合せ先 東京都千代田区神田神保町3-12-3
神保町スリービル8F 出版文化産業振興財団(JPIC)内
造本装幀コンクール事務局
TEL:03(5211)7282 FAX:03(5211)7285
E-mail: zouhon@jpica.or.jp

搬入先：〒162-0828 東京都新宿区袋町6番地
日本出版会館2F 日本書籍出版協会
TEL:03(3268)1303 FAX:03(3268)1196

出品方法

1. 裏面アドレスから web 上の申込フォームにアクセス
いただくか、「出品申込書」に必要事項を記入の上、造
本装幀コンクール事務局宛にお送りください (FAX.03-
5211-7285)。
2. 出品申込書を受領した後、事務局より出品方法のご案内、
出品内容票および出品料の請求書をお送りいたしま
す。
※その他の詳細は、申込者に直接ご案内いたします。

出品規定

1. 2016(平成28)年1月1日から12月31日までに初版発
行された書籍（奥付記載日）が対象。改訂版・新装版
は対象とするが、復刊・復刻本、過去に入賞したもの
は対象外。
2. 出品は、1冊を1点と規定し、上下巻、全集、撰集等、
複数冊で一つの作品（シリーズ等も含め）となる場合も、
1冊につき1点とみなす。但し、該当の発行年の書籍
に限る。
3. 翻訳作品については、日本オリジナル装幀に限り、審
査の対象とします。
4. 出品書籍は、審査会において厳正公平な選考を行い、
入賞作品を決定します。選考結果は出品者への通知と
ともに、主催者のホームページ・会報および一般紙誌、
業界専門紙誌にて発表します。
5. すべての出品書籍は、入賞作品と共に2017年秋以降、
国内にて公開展示する予定です。
6. 出品書籍は原則として返却できません。主催者に寄贈
いただいたものとし、公開展示後、国立国会図書館の「原
装保存コレクション」¹として保存されます。
7. 特別の事情により出品書籍の返却が必要な場合は、出
品内容票の「要返却」欄へ記載してください（返却に
必要な運賃等経費をご負担いただきます）。
万が一、返却の必要な本が盗難等により紛失した場合、
定価の範囲内において別途協議いたします。展示等
における汚損、破損はご容赦ください。

¹「原装保存コレクション」とは、出版文化史上保存すべき図書、及び造本・装幀
上、将来に伝えるべき図書等を函・カバー等の外装を含めて収集し、原装のまま、
国立国会図書館において保存し、各種展示会などに貸し出すものです。



受賞作展示

各賞

- ◎文部科学大臣賞……………1点
- ◎経済産業大臣賞……………1点
- ◎東京都知事賞……………1点
- ◎審査員奨励賞……………3点以内
- ◎日本書籍出版協会理事長賞……………6点
- ◎日本印刷産業連合会会長賞……………6点
- ◎日本図書館協会賞 読書推進運動協議会賞
出版文化国際交流会賞 出版文化産業振興財団賞……各1点

※受賞作品の書影を HP などで紹介させていただくことが
あります

※受賞された出版社、装幀者、印刷会社、製本会社には
賞状・楯を授与します



審査会 予選



表彰式

選考条件

出版社、デザイナー、印刷会社、製本会社の協力の下
で制作された、造本技術・装幀デザインが優秀な本で、
特に次の条件を備えているものとします。

- ◎造本目的と実用性との調和がとれており、美しく、か
つ本としての機能を発揮しているもの。
- ◎編集技術ならびに表紙、カバー、本文デザインが創造
性に富み、将来に示唆を与えると認められるもの。
- ◎印刷・製本技術がとくに優れているもの。
- ◎材料の選択がとくに優れているもの。

主催・後援

- 主 催：(一社) 日本書籍出版協会
(一社) 日本印刷産業連合会
- 後 援：文部科学省 経済産業省 東京都
(予定) (公社)日本図書館協会 (公社)読書推進運動協議会
(一社) 出版文化国際交流会
(一財) 出版文化産業振興財団

審査員

- ◆学識経験者 柏木 博(武蔵野美術大学名誉教授)
浜田桂子(絵本作家)
- ◆装幀家・デザイナー ミルキィ・イソベ、緒方修一
- ◆読者代表 中江有里(女優・作家)
- ◆主催 (一社)日本書籍出版協会 (一社)日本印刷産業連合会
- ◆後援官公庁・団体(予定) 文部科学省、経済産業省、東京都
(公社)日本図書館協会 (公社)読書推進運動協議会
(一社)出版文化国際交流会 (一財)出版文化産業振興財団

審査は、審査員全員による予備選考後、文部科学大臣賞、経
済産業大臣賞、東京都知事賞の三賞および審査員奨励賞は、学
識経験者、装幀家・デザイナー、読者代表による選考、その他
の賞は各団体による選考を行います。

審査員のことば

浜田桂子 (絵本作家)

造本装幀は、感性と理性の双方が絶妙なバランスで求め
られます。発想するイメージは奔放でなくてはならず、それ
を本の形に定着させるには、あらゆる構成要素の基本を熟
知した緻密な計画が不可欠です。情報が点滅しながら浮遊
している現代にあって私たちは、紙の書物に、物として存在
する安心感を求め始めているのかもしれない。手にとった
瞬間、本は身体的な感覚として記憶されていきますから。
刺激的な本に会えるのを楽しみにしています。

ミルキィ・イソベ (装幀家)

ページをめくるといふ行為こそが書物のもつ最大の力だ
ではないかと思えます。全体を把握しつつ集中でき、さらに、
おおまかに行きつ戻りつも可能。そうやって、本は、触覚
を最大限生かして、思考を深めさせ、感動を呼び起こします。
触覚は、視覚だけでは得られない小さいけれど貴重な差異
を生みます。その空間に流れていく時間をどのように構築
し、形にし、手渡すか。寄り添うだけでなく、時にジャンプ
を読者に引き起こさせるデザインをお待ちしています。

緒方修一 (装幀家)

装丁は普通の意匠を施すだけで完成品として人の目に
映る。シンプルで力強い本は時代を異にしても魅力を失
わない。言葉の荒波に左右されない強靱な土台は造本装
丁の先達たちが作り上げたものだ。
果たして次代への土台を作ることができているだろう
かという自分への疑念が残る。装丁が本の〈顔〉という
認識は、そろそろ捨てなくてはならない。

中江有里 (女優・作家)

本の魅力、それは本を読む前から感じられるものです。
中身の面白さ、深さが表に現れてきて、本を開く前から
未来の読者を惹きつけます。そして本を読み終わったあと、
ふと本を目にする度、充実した読後感を思い出します。
書棚に並べて、何度も開きたくなる。そんな本がわたしに
とっての理想の本。
まだ出会っていない素晴らしい本との出会いを待っています。